

令和5年度「さかなの日」の推進方針

1. 柱とする取組

- (1) 消費者参加型の水産物の消費拡大の取組を推進するため、「さかな料理部」を創設（注）
 - （注）消費者に魚を使った料理をつくってもらい、写真を SNS に投稿する際、「#さかな料理部」をつけていただくことで、魚料理の輪を広げようとする取組（クックパッドや食品製造メーカーを中心とした賛同メンバーとの連携）
- (2) 半島の食のブランド化推進のための取組との連携（国土交通省との連携）
 - ①「カーボンニュートラルを考える 2023」（4月1日、2日に幕張メッセで開催、大手芸能事務所（アップフロントグループ）による地方応援イベント。アイドルグループ「アンジュルム」等が出演）等のイベントでの情報発信
 - ②「さかなの日」のロゴ入りの半島マグロカレー及び半島イカタコの缶詰を販売
 - ③規格外・未活用食材の半島産品データベースの活用 等
- (3) 離島振興のための取組との連携（離島振興地方創生協会との連携）
 - ①「さかなの日」ロゴ入りの新商品開発
 - ②スーパーマーケット、百貨店、専門店等における離島の魚フェアの実施
 - ③規格外・未利用魚の活用 等
- (4) 米粉の利用拡大のための取組との連携（農林水産省との連携）
 - ①米粉を使用した魚料理の学校給食への提供
 - ②イベントでの情報発信 等

2. 「さかなの日」アンバサダーのさかなクンの取組

- (1) テレビ番組出演時での「さかなの日」の情報発信
- (2) 動画作成・配信（BUZZ MAFF）
- (3) 等身大パネルの作成・イベントでの活用
- (4) 賛同メンバーと連携した取組

3. 賛同メンバーの取組の推進

- (1) 賛同メンバーの水産物消費拡大の取組の推進、公式ウェブサイト・メディア等での情報発信
- (2) 「さかなの日」の取組を拡大させるための賛同メンバーの効果的な連携の推進
 - ①交流会の開催
 - ②担当者名簿の作成・共有

4. その他

- (1) 賛同メンバーの取組状況を分析し、「さかなの日」の定着に向けて、賛同メンバーによる効果的な取組の実施のための改善点等の検討
- (2) おにぎりの具選手権（4月頃）、Fish-1 グランプリ（11月頃）、おさかな文化祭（11月頃）、ニッポンフードシフトフェス（11月頃）、その他のイベントとの連携